

はたやま 「幡多山もりフェス 2019」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 高知水源林整備事務所

高知水源林整備事務所は、令和元年10月27日（日）に高知県四万十市の四万十川河川敷にて開催された「幡多山もりフェス 2019」に参加しました。

本イベントは幡多地域（高知県西部）の森林組合が主体となり設立した実行委員会が運営しており、今年で7回目を迎え、今回は『幡多の自然とみどりの仕事』というテーマで開催されました。当日は晴天に恵まれ、林業関係の団体や企業、学校が出展した会場は約3,000名の来場者で賑わいました。

第1回から出展している当事務所のブースでは、水源林造成事業のパネル展示やパンフレットの配布を行うとともに、高知水源林育成士と合同で各種企画を催し、来場者の皆様にPRを行いました。

「松ぼっくりのクリスマスツリー作り」は今回も盛況となり、参加者はスラッシュマツの大きな松ぼっくり（森林総合研究所四国支所提供）を使って、立派なクリスマスツリーを作っていました。また、「林業コスプレ」を楽しまれるご家族も多く、素敵に変身されたお子様の姿は、お母様方に大変な好評をいただけたようでした。

「木の漢字当てクイズ」は毎年恒例となっていますが、正解された問題の難易度に応じて賞状をお渡しして、より楽しんでいただくことができたように思います。第1回の参加時から継続している、布製のバッグに絵を描いて頂く「オリジナルエコバッグ作り」も、多くの方にご参加いただきました。

また、メインステージでは、高知水源林育成士と協力して森林を題材とした紙芝居を上演しました。森林の持つ機能や森づくりの大切さを伝える内容でしたが、たくさん集まってくれた子供たちは夢中で見入っている様子でした。

今年も大人から子供まで幅広い世代の方々にご参加いただき、今後も出展を通じて森林への親しみや、水源林造成事業へ理解をより深めてもらうことができると感じました。

高知水源林整備事務所では、水源林造成事業の意義や重要性を広く知っていただくため、今後も地域のイベントへの参加に積極的に取り組んでまいります。



松ぼっくりのクリスマスツリー作り



木の漢字当てクイズ



紙芝居



林業コスプレ



オリジナルエコバッグ作り